

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 23-038	
研究課題名	アザチオプリンの副作用発現頻度に係る調査研究
情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	広く自己免疫性疾患に用いられている免疫抑制剤（アザチオプリン）の副作用を全国的に集積し、今後「医薬品副作用被害救済制度」の対象としていくためのデータ収集目的の研究です（厚生労働行政推進調査）。使用するデータは個人情報廃して主たる研究機関に送付します。研究成果は学会や学術専門誌へ発表されることがありますが、患者さんの個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
利用または提供する情報の項目	診療録内の病歴、臨床検査値などを利用します。
対象者及び対象期間	2019年2月から2023年7月までにアザチオプリン（イムラン錠またはアザニン錠）が投与された患者さん
利用の範囲	福島県立医科大学消化器内科
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院 消化器内科部長 和栗 暢生
問い合わせ先	新潟市民病院 消化器内科部長 和栗 暢生
共同臨床研究機関	福島県立医科大学消化器内科学講座 ほか
備考	